



安全データシート

Copyright, 2018 3M

本情報は、マグアイアーズ™ 製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製ないしダウンロードする場合には、以下の条件をお守り下さい。（1）当社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（2）本情報を営利目的で転売もしくは配布しないで下さい。

SDS番号	29-6122-5	版	1.00
発行日	2018/12/13	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2012に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

マグアイアーズ™ ホットリムズ™ オールホイール&タイヤクリーナー G9524

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

金属腐食性： 区分1
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分1
皮膚腐食性及び皮膚刺激性： 区分1A
特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3
水生環境有害性（急性）： 区分3
水生環境有害性（長期間）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

腐食性 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H290	金属腐食のおそれ。
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H412	長期継続的影響により水生生物に有害。

注意書き

一般：

P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P101	医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。

安全対策

P234	他の容器に移し替えないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後は、手指をよく洗うこと。

応急措置

P303 + P361 + P353	皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

廃棄

P501 内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

胃腸への腐食のおそれ。 気道に化学的熱傷を起こすおそれ。

3. 組成及び成分情報

成分	CAS番号	重量%
混合物（非有害性）	混合物	60 - 100
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	1 - 5
デシルアミンオキシド	2605-79-0	1 - 5
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	1 - 5
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	1 - 5
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	1 - 5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。直ちに医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

毒性学的影響についてはセクション11を参照。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。多量の水で希釈する。スルファミン酸又は酢酸等を希釈した物を注意深く攪拌しながら添加する。中和されたことを確認する。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。被害が発生しないように流出したものを吸収すること。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。ポリエチレンがコートしてある金属容器に収納し、シールする。水で残さを清浄する。被覆する。48時間以上密封してはいけない。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

子供の手の届かないところに置くこと。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。爆発の危険となる可能性がある水素の形成を避けるため、反応性の金属（例えば、アルミニウム、亜鉛等）から遠ざける。

保管

換気の良い場所で保管する。容器を密閉しておくこと。日光から遮断すること。熱から離して保管する。他の容器に移し替えないこと。耐腐食性／耐腐食性内張りのある容器に保管すること。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。長靴：ニトリルゴム。

ポリマーラミネート製エプロン

呼吸用保護具

ばく露状況評価で吸入保護具が必要と判断された場合には、吸入防止手順に従って、以下のものから呼吸保護具を選択する。

有機ガス及び微粒子に適している半面形あるいは全面形ろ過式マスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
形状、色、臭い	透明色。穏やかな匂い。
臭いの閾値	データはない。
pH	13.56
融点・凝固点	データはない。
沸点、初留点及び沸騰範囲	> 212
引火点	>= 93.3 °C [試験方法：ペンスキーマルテン密閉式]
蒸発速度	データはない。
引火性（固体、ガス）	適用しない。
燃焼点（下限）	データはない。
燃焼点（上限）	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度	データはない。
密度	1.02 - 1.03 g/ml
比重	1.02 - 1.03 [参照基準：水=1]
溶解度	完全に溶解する
溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度	データはない。
モル重量	データはない。
揮発性有機化合物	1.95 %
揮発性有機化合物	20 g/l
揮発分	85 重量%
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS-GHSの要求項目ではない）	132 g/l

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

危険な重合が起こることがある。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

強酸

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

皮膚に付着した場合

皮膚薬傷（化学性腐食）： 発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、瘢痕形成などの症状。

吸入した場合

気道腐食： 鼻汁、激しい鼻及び喉の痛み、胸部の圧迫感及び痛み、喀血、喘鳴及び息切れなどの症状が発現し、呼吸困難に至る。

飲み込んだ場合

胃腸への腐食作用： 口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入-蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い:ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い:ATEで計算。5,000 mg/kg
メタケイ酸ナトリウム	皮膚	ウサギ	LD50 > 4,640 mg/kg
メタケイ酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 500 mg/kg
2-プロポキシエタノール	皮膚	ウサギ	LD50 1,337 mg/kg

2-プロポキシエタノール	吸入-蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 > 11.1 mg/l
2-プロポキシエタノール	経口摂取	ラット	LD50 3,089 mg/kg
オレフィンスルホン酸ナトリウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 578 mg/kg
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	吸入-粉塵/ ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 1.5 mg/l
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	ラット	LD50 1,658 mg/kg
デシルアミンオキシド	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
デシルアミンオキシド	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	In vitro data	腐食性
メタケイ酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
オレフィンスルホン酸ナトリウム	ウサギ	軽度の刺激
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	類似健康 有害性	腐食性
メタケイ酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
オレフィンスルホン酸ナトリウム	ウサギ	腐食性
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	ウサギ	腐食性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メタケイ酸ナトリウム	マウス	区分されない。
オレフィンスルホン酸ナトリウム	モルモット	区分されない。
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	ヒト及び 動物	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メタケイ酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
メタケイ酸ナトリウム	In vivo	変異原性なし
オレフィンスルホン酸ナトリウム	In vitro	変異原性なし
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
オレフィンスルホン酸ナトリウム	皮膚	ラット	発がん性なし
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	ラット	発がん性なし
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタケイ酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性は区分されない	マウス	NOAEL 200 mg/kg/day	妊娠期間中
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 871 mg/kg	2世代
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 891 mg/kg	2世代
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	発生毒性は区分されない	ウサギ	NOAEL 600 mg/kg	器官発生期
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	4世代
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	4世代
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	LOAEL 1,000 mg/kg/day	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
----	----	------	---------	-----	------	-------

メタケイ酸ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	公的な分類	NOAEL 非該当	
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	刺激 陽性	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタケイ酸ナトリウム	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	イヌ	LOAEL 2,400 mg/kg/day	4 週
メタケイ酸ナトリウム	経口摂取	内分泌系 血液	区分されない。	ラット	NOAEL 804 mg/kg/day	3 月
メタケイ酸ナトリウム	経口摂取	心臓 肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 1,259 mg/kg/day	8 週
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	6 月
オレフィンスルホン酸ナトリウム	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg	6 月
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	吸入した場合	呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	NOAEL 3 mg/m3	13 週
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	吸入した場合	肝臓 心臓 皮膚 内分泌系 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 尿管系	区分されない。	ラット	NOAEL 15 mg/m3	13 週
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	造血器系 肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	13 週
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	経口摂取	心臓 消化管 筋肉 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg/day	13 週

吸引力呼吸器有害性

セクション 3 に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの 1 ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション 2 で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション 2 の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

水生毒性（慢性）

GHS水生環境有害性（長期間）区分3：長期継続の影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	東欧がき	推定値	96 時間	LC50	89.4 mg/l
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	>5,000 mg/l
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>5,000 mg/l
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
デシルアミンオキシド	2605-79-0	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	0.129 mg/l
デシルアミンオキシド	2605-79-0	メダカ	推定値	96 時間	LC50	29.9 mg/l
デシルアミンオキシド	2605-79-0	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	2.23 mg/l
デシルアミンオキシド	2605-79-0	緑藻類	推定値	72 時間	NOEC	0.005 mg/l
デシルアミンオキシド	2605-79-0	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.36 mg/l
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	>345.4 mg/l
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	210 mg/l
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	緑藻類	推定値	72 時間	有効濃度 10%	34.5 mg/l
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	珪藻	実験	72 時間	EC50	5.2 mg/l
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	3.48 mg/l
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	2.6 mg/l
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	珪藻	実験	72 時間	有効濃度 10%	3.9 mg/l
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	6.3 mg/l
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	ブルーギル	実験	96 時間	LC50	1,030 mg/l

エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	ミジニコ	実験	24 時間	EC50	1,033 mg/l
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	ミジニコ	推定値	21 日	NOEC	29 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	実験 生分解性	20 日	生物学的酸素要求量	100 % BOD/ThBOD	別法
デシルアミンオキシド	2605-79-0	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	97 重量%	OECD 301E-Modified OECD Score
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	データ不足			N/A	
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	80 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-プロポキシエタノール	2807-30-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.673	別法
デシルアミンオキシド	2605-79-0	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	182	推定値：生態濃縮係数
メタケイ酸ナトリウム	6834-92-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
オレフィンスルホン酸ナトリウム	68439-57-6	推定値 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-1.3	別法
エチレンジアミン四酢酸四ナトリウム	64-02-8	推定値 BCF-ブルーギル	28 日	生物濃縮係数	1.8	生態濃縮：流水試験

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3266 その他の腐食性物質、無機物、液体、アルカリ性のもの

輸送分類（IMO）：8 腐食性物質

輸送分類（IATA）：8 腐食性物質

容器等級：III

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

本SDSの適用法規の内容は、2018年7月1日施行の改正労働安全衛生法に基づいて記載されています。

主な法規制物質

		法規名	
成分	安衛法通知政令番号	P R T R 政令番号	毒物及び劇物取締法
該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。

日本国内法規制（主な適用法令）

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）
船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

16. その他の情報

改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用

では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。